

2024. 4.17

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

【立命館土曜講座のご案内】

2024 年 5 月のテーマ「社会は情報アクセスをいかに保障するか」

開催日程：2024 年 5 月 11 日(土)・25 日(土)

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

2024 年 5 月の立命館土曜講座は、立命館大学生存学研究所の企画として、「社会は情報アクセスをいかに保障するか」をテーマに、ハイブリッド形式(対面・Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 5 月テーマ「社会は情報アクセスをいかに保障するか」

(1)「政治・選挙を理解する」を問い直す-知的障害者の投票支援の視点から

日時：2024 年 5 月 11 日(土) 10:00~11:30

ハイブリッド開催 会場:衣笠キャンパス末川記念会館+Zoom ウェビナー

(2)読書バリアフリーに関する国立国会図書館の近年の取組

日時：2024 年 5 月 25 日(土) 10:00~11:30

ハイブリッド開催 会場:衣笠キャンパス末川記念会館+Zoom ウェビナー

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：衣笠キャンパス末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー400 人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeikan.ac.jp/doyo/>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・堀

TEL.075-465-8224

別紙

■立命館土曜講座 5月テーマ「社会は情報アクセスをいかに保障するか」

(1)「政治・選挙を理解する」を問い直す-知的障害者の投票支援の視点から

日時：2024年5月11日(土) 10:00~11:30

講師：京都産業大学外国語学部 准教授 立命館大学生存学研究所 客員研究員 堀川 諭

講師による内容紹介：

障害があろうとなかろうと、選挙で投票することは日本で18歳以上のすべての国民に認められた権利です。しかし、投票制度や選挙時に提供される立候補者・政党の情報に目を向けると、誰にとっても投票しやすい環境が整備されているとは言い難い状況であることが分かります。とりわけ高い壁に直面している知的障害者がどのような困難を抱えているのか、また、そうした困難をできるだけ解消するためにどのような先進的な取り組みが行われているかを説明します。そして、知的障害者の投票について考えると、「政治・選挙を理解する」とは何を意味するのかという問いに行き当たります。何をどこまで理解できていれば、投票するにふさわしい状態と言えるのか。そもそもそのような判断の仕方は妥当なのか。立候補者の人柄や容姿をもとに投票先を選ぶことは不適切なのか。さまざまな観点からこれらの問いに対して検討を加え、民主主義社会について、また、「インクルーシブ社会」について考える機会にしたいと思っています。

(2) 読書バリアフリーに関する国立国会図書館の近年の取組

日時：2024年5月25日(土) 10:00~11:30

講師：国立国会図書館 参事 植村 要

講師による内容紹介：

2019年に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」が施行されました。国立国会図書館は、同法が定める国の施策を各種方針に記載し、実施しています。

中期的な運営方針を定めるものとして、「国立国会図書館ビジョン2021-2025」を示し、本5年間で「国立国会図書館のデジタルシフト」推進期間としています。この一環として、読書バリアフリーの推進を掲げ、視覚障害等の理由で読書に困難がある利用者向けに、バリアフリー対応の資料の収集・検索・提供サービスと、利用しやすいテキストデータの製作支援を推進することとしています。合わせて、障害者等に対するサービスに関する方針を定めるものとして、「障害者サービス実施計画2021-2024」を示し、障害者が利用しやすい資料の一層の充実を促進するとともに、それらの資料を発見しアクセスできる体制・環境の整備を目指しています。

本講演では、こうした施策を実施するものとして、国立国会図書館が近年公開した「みなサーチ」と呼ばれるサイトと、「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン1.0」を紹介します。

■立命館土曜講座

1946年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEBサイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>